

Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定(変額保険用) 月次運用報告書(2008年11月)

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
2008年11月における特別勘定(変額保険用)の運用状況をご報告致します。
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.axa.co.jp/life/>

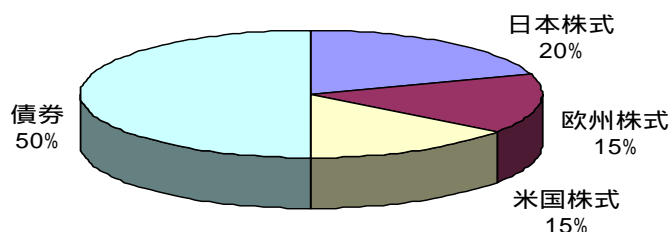
特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。基本的な資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。特別勘定の運用は、各投資信託(ファンド)の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チームが行います。特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社(運用協力会社)の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

目次

| | |
|---------------|-----|
| 特別勘定の運用方針 | 1 |
| 運用協力会社のご紹介 | 1 |
| 運用環境について | 2 |
| 特別勘定の資産内容について | 3 |
| 各ファンドについて | 4-6 |
| 注意事項 | 6 |
| 契約月別の運用実績の例 | 7-9 |

(グローバルミックスの資産配分比率)



* 上記は設定当初の資産配分比率です。
* 資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

運用協力会社(ファンドの運用会社)のご紹介

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

運用環境について(2008年11月)

【日本株式市場】

日本株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、日経平均が 0.75%、TOPIXが 3.72%となりました。オバマ次期政権への期待感から市場は上昇してしまいましたが、6日にトヨタ自動車が予想営業利益を1兆円下方修正すると企業業績悪化懸念から市場は下落に転じました。日経平均は再び8,000円を割り込み21日には安値7,406円18銭をつけましたが米政府が米大手銀行への大規模支援策を発表すると市場は反発し結局小幅安で引けました。中小・新興市場を見ると内需関連株中心に底値を拾う動きから底堅い動きとなりました。東証2部および日経ジャスダック平均はそれぞれ1.13%、+0.84%となっています。東証33業種の動きでは当月は輸送用機器が大きく下落した一方、原油安の恩恵を受けたパルプ・紙は大きく上昇するなど業種間の格差が大きくなりました。

【米国株式市場】

米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は 7.48%、ダウ平均株価は 5.32%、ナスダック指数は 10.77%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

月初の米国株式市場は、ADP雇用統計や大手小売店の既存店売上高などが市場予想を下回ったほか、IMF(国際通貨基金)の「主要先進国・地域は2009年にマイナス成長に陥る」との見通しが嫌気されて下落しました。月半ばには、主要企業による業績見直し引き下げが相次いだことに加え、不良資産買い取りをめぐる、米財務省の消極姿勢も嫌気されました。加えて、米連邦準備制度理事会(FRB)が経済見通しを下方修正したことや、自動車業界救済案の審議が先送りされたことも悪材料となり、下落幅が拡大しました。月末近くでは、オバマ次期政権への期待の高まりやシティグループの救済案、FRBの追加金融対策が好感されて大幅に反発したものの、前月末比では下落となりました。

【欧州株式市場】

欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は 5.10%、英FT100指数は 2.04%、仏CAC指数は 6.43%、独DAX指数は 6.39%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

月初の欧州株式市場は、銀行間金利の低下などを受けて上昇基調で始まりましたが、欧州委員会やIMF(国際通貨基金)により欧州経済の悲観的な見通しが発表されたことや、企業業績への懸念、ドイツ経済のリセッション入りが悪材料となり反落しました。欧州中央銀行(ECB)が0.5%の利下げを行ない、イングランド銀行(BOE)が1.5%の予想外の大幅利下げを行なったにも関わらず、企業業績の悪化懸念は根強く、市場の下落基調に変化はありませんでした。さらに、欧州でも自動車セクターの業績不振が市場の重石となり、原油価格の下落を受けてエネルギーセクターも軟調に推移しました。月末はオバマ次期政権への期待の高まりやシティグループの救済案の決定を受けて米国株式市場が反発したことから、欧州株式市場も反転して月を終了しました。

【国内債券市場】

国内債券市場は、月中旬までは方向感のない推移となったものの、その後、米長期金利の低下を受けて、同様に金利低下の動きを強めました。前月末から多少売られ、1.5%水準で始まった10年国債利回りは、月前半、国内株式市場動向や、米債券の動きをにらみながらも方向感のない1.5%を挟むレンジでの動きとなりました。しかし、月後半に入ると、米住宅関連市場の悪化、米消費者物価指数の下落によるデフレ懸念の高まり、米連邦準備制度理事会(FRB)の経済見通しを下方修正等から、米金利は急低下し、国内債券市場にもこの動きが波及する結果となりました。国内株安や円高基調もこの動きを下支えし、10年国債利回りは一時1.4%割れまで低下しました。日銀は政策金利を据え置いたものの、景気動向と短期金融市場の流動性を注視し、積極的な資金供給を継続しました。

(参考指標)

| | | 2008年10月末 | 2008年11月末 | 変化率 |
|----|---------------|---------------|---------------|---------|
| 日本 | TOPIX(東証株価指数) | 867.12 ポイント | 834.82 ポイント | -3.72% |
| | 日経平均 | 8,576.98 円 | 8,512.27 円 | -0.75% |
| | 新発10年国債 | 1.480 % | 1.395 % | 0.085低下 |
| 米国 | NYダウ | 9,325.01 ドル | 8,829.04 ドル | -5.32% |
| | S&P500 | 968.75 ポイント | 896.24 ポイント | -7.48% |
| | NASDAQ | 1,720.95 ポイント | 1,535.57 ポイント | -10.77% |
| | 10年国債 | 3.953 % | 2.920 % | 1.033低下 |
| 欧州 | FT100 | 4,377.34 ポイント | 4,288.01 ポイント | -2.04% |
| | CAC40 | 3,487.07 ポイント | 3,262.68 ポイント | -6.43% |
| | DAX | 4,987.97 ポイント | 4,669.44 ポイント | -6.39% |
| | 独10年国債 | 3.900 % | 3.258 % | 0.642低下 |
| 為替 | 米ドル/円レート | 98.40 円 | 95.54 円 | 2.91%円高 |
| | ユーロ/円レート | 125.89 円 | 123.22 円 | 2.12%円高 |

* 各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利(日本)、ジェネリック米国利回り10年(米国)、ドイツ国債10年の利回り(欧州)を表示しております。

* 為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

特別勘定の資産内容について(2008年11月)

【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のINDEX」とは、弊社が変額保険「Global Mix」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。



| 日付 | INDEX |
|----------|-------|
| 07/12/31 | 0.978 |
| 08/01/31 | 0.935 |
| 08/02/29 | 0.941 |
| 08/03/31 | 0.914 |
| 08/04/30 | 0.947 |
| 08/05/31 | 0.959 |
| 08/06/30 | 0.927 |
| 08/07/31 | 0.922 |
| 08/08/31 | 0.916 |
| 08/09/30 | 0.851 |
| 08/10/31 | 0.789 |
| 08/11/30 | 0.777 |

【騰落率】

| 過去1ヶ月 | 過去6ヶ月 | 過去1年 | 過去2年 | 過去3年 | 設定来 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| -1.56% | -19.00% | -20.87% | -20.46% | -18.04% | -22.28% |

注) 設定日である2000年8月1日を1.00としたパフォーマンスを示しています。

注) 騰落率は、一定期間における運用実績の変動率のことです。

注) 上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。

注) この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

【特別勘定資産の内訳】

| 項目 | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
|------------------|------------|------------|
| 預貯金・コールローン | 615,194 | 2.0 |
| 日本株式型投資信託 (アクサR) | 2,941,741 | 9.6 |
| 日本株式型投資信託 (アクサR) | 4,446,282 | 14.5 |
| 米国株式型投資信託(アクサR) | 4,345,612 | 14.2 |
| 欧州株式型投資信託(アクサR) | 3,014,297 | 9.8 |
| 日本債券型投資信託(アクサR) | 14,656,348 | 47.9 |
| その他 | 589,330 | 1.9 |
| 特別勘定合計 | 30,608,807 | 100.0 |

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っていません。

【保有契約高】

| 項目 | 件数 (件) | 金額 (千円) |
|-----|-----------|-------------|
| 有期型 | 1,071 | 2,474,490 |
| 終身型 | 53,840 | 287,369,771 |
| 合計 | 54,911 | 289,844,261 |

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。

【特別勘定の解説】

当特別勘定は原則として、50%を安全資産での運用にしております。

積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の25%、欧米株式で25%の資産配分といたします。

リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

【今後の運用方針】

特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

(アクサ生命保険株式会社 ファンドマネジメント・チーム)



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

日本株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】 わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】 TOPIX

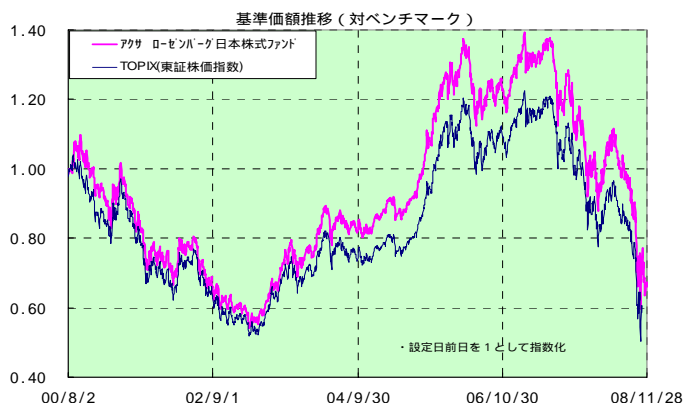
【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 3.72%であったのに対し、当ファンドは、 3.33%となりました。
当月の日本株式市場は、企業規模の大きい銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことがプラスに寄与しました。
運用協会社独自の業種別では、相対的に下落した不動産、総合商社やITハードウェアをベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。
一方個別銘柄では、相対的に上昇したソフトバンク(9984)やセコム(9735)をベンチマーク対比で少なめに保有していたことや、リソナホールディングス(8308)を保有していなかったことはマイナスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



| 順位 | 銘柄 | 業種 | 比率 |
|-------|-------------------|--------|-------|
| 1 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 3.6% |
| 2 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 2.8% |
| 3 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 2.0% |
| 4 | 東京電力 | 電気・ガス業 | 2.0% |
| 5 | エヌ・ティ・ティ・ドコモ | 情報・通信業 | 1.8% |
| 6 | 武田薬品工業 | 医薬品 | 1.4% |
| 7 | 本田技研工業 | 輸送用機器 | 1.4% |
| 8 | 東日本旅客鉄道 | 陸運業 | 1.4% |
| 9 | キヤノン | 電気機器 | 1.3% |
| 10 | 任天堂 | その他製品 | 1.3% |
| 合計 | | | 19.0% |
| 組入銘柄数 | | | 510銘柄 |

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

日本バリュー株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】 わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】 TOPIX

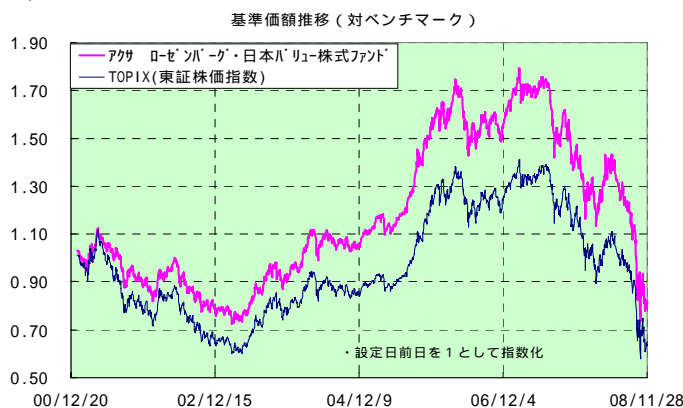
【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 3.72%であったのに対し、当ファンドは、 2.31%となりました。
当月の日本株式市場は、企業規模の大きい銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことがプラスに寄与しました。
運用協会社独自の業種別では、相対的に下落した総合商社、不動産を少なめに保有していたことや、上昇した輸送をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。
個別銘柄では、下落したトヨタ自動車(7203)をベンチマーク対比で少なめに保有していたことや、三菱商事(8058)や東京海上ホールディングス(8766)を保有していなかったことはプラスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



| 順位 | 銘柄 | 業種 | 比率 |
|-------|-------------------|--------|-------|
| 1 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 3.6% |
| 2 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 3.4% |
| 3 | アステラス製薬 | 医薬品 | 2.6% |
| 4 | 東海旅客鉄道 | 陸運業 | 2.5% |
| 5 | 東日本旅客鉄道 | 陸運業 | 2.4% |
| 6 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 2.2% |
| 7 | 花王 | 化学 | 2.1% |
| 8 | 第一三共 | 医薬品 | 2.1% |
| 9 | 日立製作所 | 電気機器 | 2.0% |
| 10 | 国際石油開発帝石 | 鉱業 | 1.9% |
| 合計 | | | 24.8% |
| 組入銘柄数 | | | 437銘柄 |

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

欧州株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

[運用方針]: 幅広い投資対象(欧州約3,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

[ベンチマーク]: MSCI 欧州株式指数(為替ヘッジあり)

[運用状況]

当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が 3.73%であったのに対し、当ファンドは 1.24%となりました。
当月の欧州株式市場は、市場全体に対し比較的堅調であった銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。
運用協力会社独自の業種別では、上昇した石油メジャーをベンチマーク対比で多めに保有していたことや、下落したその他金融、金属を少なめに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。
個別銘柄では、下落した素材のリオ・テント(イギリス)、銀行のBNPパリバ(フランス)をベンチマーク対比で少なめに保有していたことや、上昇したドイツ・ポストを多めに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)



| | 銘柄 | 業種 | 比率 |
|-------|------------------------|------------------------|-------|
| 1 | BP PLC | エネルギー | 3.8% |
| 2 | テレフォニカ S.A. | 電気通信サービス | 2.3% |
| 3 | ネスレ | 食品・飲料・タバコ | 2.3% |
| 4 | ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-A SHS | エネルギー | 2.3% |
| 5 | HSBC ホールディングス PLC | 銀行 | 2.2% |
| 6 | エーオン | 公益事業 | 1.9% |
| 7 | ENI SPA | エネルギー | 1.8% |
| 8 | ノバルティス AG-REG SHS | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 1.8% |
| 9 | ボーダフォン・グループ PLC | 電気通信サービス | 1.7% |
| 10 | ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-B SHS | エネルギー | 1.7% |
| 合計 | | | 21.8% |
| 組入銘柄数 | | | 289銘柄 |

* 上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

米国株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

[運用方針]: 幅広い投資対象(米国約6,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

[ベンチマーク]: S & P 500(為替ヘッジあり)

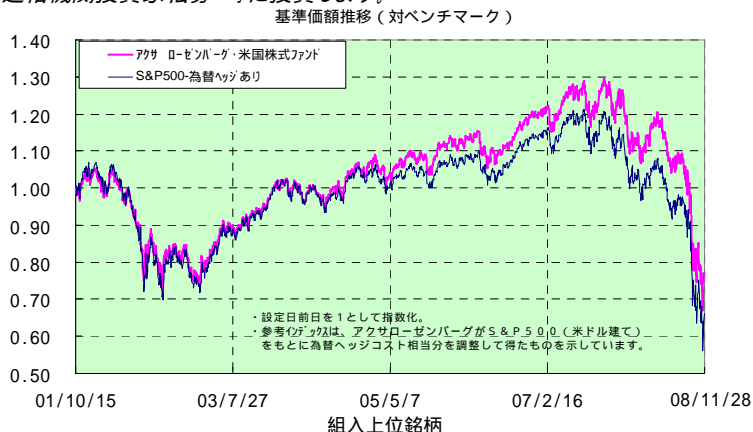
[運用状況]

当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が 7.05%であったのに対し、当ファンドは 5.47%となりました。
当月の米国株式市場は、市場運動性の高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。
運用協力会社独自の業種別では、下落したREIT(不動産投資信託)を保有していなかったことや、その他金融、銀行を少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。
個別銘柄では、上昇した電気通信サービスのベライゾン・コミュニケーションズ、資本財のエマソン・エレクトリック・カンパニー、エネルギーのシェブロンをベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)



| | 銘柄 | 業種 | 比率 |
|-------|------------------|------------------------|-------|
| 1 | エクソンモービル | エネルギー | 4.9% |
| 2 | シェブロン | エネルギー | 2.2% |
| 3 | マイクロソフト | ソフトウェア・サービス | 2.0% |
| 4 | ウォルマート・ストアーズ | 食品・生活必需品小売り | 2.0% |
| 5 | プロクター・アンド・ギャンブル | 家庭用品・パーソナル用品 | 2.0% |
| 6 | AT&T | 電気通信サービス | 1.9% |
| 7 | ゼネラル・エレクトリック | 資本財 | 1.7% |
| 8 | IBM | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 1.6% |
| 9 | ベライゾン・コミュニケーションズ | 電気通信サービス | 1.5% |
| 10 | ジョンソン・エンド・ジョンソン | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 1.4% |
| 合計 | | | 21.2% |
| 組入銘柄数 | | | 287銘柄 |

* 上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

日本債券ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

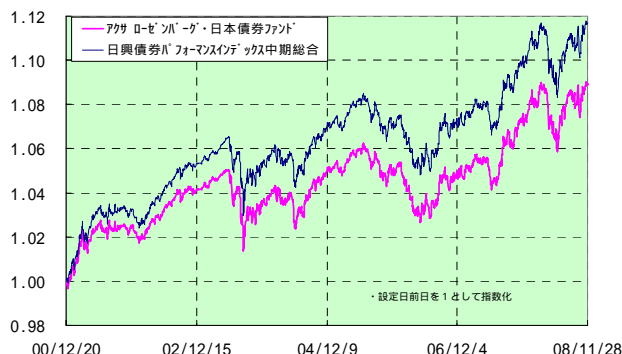
【運用方針】: 主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: 日興債券パフォーマンス・インデックス中期総合

【運用状況】

当月の当ファンドは+0.16%となり、ベンチマークは+0.09%となりました。企業業績は急速に悪化し、景気後退局面入りとなっています。依然として米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題や金融不安が市場の混乱を誘発しており、リスク回避的な判断を維持しました。従って、デュレーション戦略は中立とし、パフォーマンスに大きな寄与はありませんでした。イールド・カーブの7~10年ゾーンの金利低下が大きく、この年限が対ベンチマーク比でオーバーウェイトとなっていたことから、プラスの寄与となりました。対国債利回り格差が拡大を続けたことにより社債保有はマイナス寄与となったものの、インフレ連動債は一旦落ち着き、大きな影響はありませんでした。全体ではベンチマーク比プラスのパフォーマンスとなりました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



信託財産の構成

| | 組入比率 | デュレーション |
|--------|--------|---------|
| 公社債 | 100.0% | 4.53年 |
| 短期資産等* | 0.0% | 0.00年 |
| 合計 | 100.0% | 4.53年 |

【今後の運用方針】

日銀は、米サブプライムローン問題や金融不安等の不確実要素に対する懸念と国内の実体経済の悪化懸念を強めています。インフレ懸念は落ち着きつつあることから、日銀は、世界的な金融危機や景気減速に対処するため国際協調姿勢を強めています。前月末、日銀は政策金利を引き下げたものの、今後景気の後退が国内外共に更に強まる事が予想され、これらの不確実要素が実体経済に与える影響や短期金融市場の流動性の問題を考え合わせれば、緩和的な姿勢を維持して行くものと考えられます。当ファンドでは、国内要因、外的要因の影響等を注視し、金融政策変更の影響も考慮しつつ運用を行なっていく方針です。

信託財産の内訳

| | 組入比率 | デュレーション |
|------------|--------|---------|
| 国債 | 76.1% | 5.10年 |
| 地方債 | 0.0% | 0.00年 |
| 特殊・財投債 | 6.3% | 3.06年 |
| 金融債 | 0.6% | 1.56年 |
| 社債等 | 17.0% | 2.65年 |
| コールローンその他* | 0.0% | 0.00年 |
| 合計 | 100.0% | 4.53年 |

*債券先物を含む
公社債の格付別構成比率

| 格付区分** | 構成比率 |
|--------|--------|
| AAA | 7.4% |
| AA | 87.5% |
| A | 4.5% |
| BBB | 0.6% |
| BB以下 | 0.0% |
| 合計 | 100.0% |

*債券先物を含む

** S&P格付を優先

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本債券運用チーム)

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

注意事項

変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

変額保険のリスクについて

市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を上回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

| 契約日 | 終身型 | | 有期型 | | 契約月別 運用実績 (%) | 年複利 (%) |
|--------------|--------------|----------------|--------------|----------------|---------------------|------------|
| | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | | |
| 平成12年 8月 1日 | 1,000 | -484 | 1,000 | -453 | -22.28 | -2.98 |
| 平成12年 9月 1日 | 1,000 | -491 | 1,000 | -459 | -23.43 | -3.18 |
| 平成12年 10月 1日 | 1,000 | -471 | 1,000 | -441 | -21.24 | -2.88 |
| 平成12年 11月 1日 | 1,000 | -455 | 1,000 | -426 | -19.46 | -2.64 |
| 平成12年 12月 1日 | 1,000 | -437 | 1,000 | -408 | -17.41 | -2.36 |
| 平成13年 1月 1日 | 1,000 | -421 | 1,000 | -393 | -15.58 | -2.12 |
| 平成13年 2月 1日 | 1,000 | -430 | 1,000 | -402 | -17.12 | -2.37 |
| 平成13年 3月 1日 | 1,000 | -400 | 1,000 | -373 | -13.58 | -1.87 |
| 平成13年 4月 1日 | 1,000 | -382 | 1,000 | -356 | -11.64 | -1.60 |
| 平成13年 5月 1日 | 1,000 | -402 | 1,000 | -375 | -14.46 | -2.04 |
| 平成13年 6月 1日 | 1,000 | -395 | 1,000 | -369 | -13.93 | -1.98 |
| 平成13年 7月 1日 | 1,000 | -383 | 1,000 | -357 | -12.74 | -1.82 |
| 平成13年 8月 1日 | 1,000 | -360 | 1,000 | -335 | -10.17 | -1.45 |
| 平成13年 9月 1日 | 1,000 | -327 | 1,000 | -303 | -6.31 | -0.90 |
| 平成13年 10月 1日 | 1,000 | -286 | 1,000 | -264 | -1.52 | -0.21 |
| 平成13年 11月 1日 | 1,000 | -300 | 1,000 | -277 | -3.54 | -0.51 |
| 平成13年 12月 1日 | 1,000 | -304 | 1,000 | -281 | -4.43 | -0.65 |
| 平成14年 1月 1日 | 1,000 | -303 | 1,000 | -281 | -4.73 | -0.70 |
| 平成14年 2月 1日 | 1,000 | -280 | 1,000 | -258 | -2.12 | -0.31 |
| 平成14年 3月 1日 | 1,000 | -286 | 1,000 | -263 | -3.22 | -0.48 |
| 平成14年 4月 1日 | 1,000 | -297 | 1,000 | -274 | -4.98 | -0.76 |
| 平成14年 5月 1日 | 1,000 | -291 | 1,000 | -268 | -4.56 | -0.71 |
| 平成14年 6月 1日 | 1,000 | -292 | 1,000 | -270 | -5.11 | -0.80 |
| 平成14年 7月 1日 | 1,000 | -260 | 1,000 | -239 | -1.44 | -0.23 |
| 平成14年 8月 1日 | 1,000 | -230 | 1,000 | -209 | 1.98 | 0.31 |
| 平成14年 9月 1日 | 1,000 | -227 | 1,000 | -206 | 1.98 | 0.31 |
| 平成14年 10月 1日 | 1,000 | -202 | 1,000 | -180 | 4.88 | 0.78 |
| 平成14年 11月 1日 | 1,000 | -199 | 1,000 | -177 | 4.87 | 0.78 |
| 平成14年 12月 1日 | 1,000 | -210 | 1,000 | -189 | 3.05 | 0.50 |
| 平成15年 1月 1日 | 1,000 | -186 | 1,000 | -164 | 5.75 | 0.95 |
| 平成15年 2月 1日 | 1,000 | -163 | 1,000 | -141 | 8.28 | 1.37 |
| 平成15年 3月 1日 | 1,000 | -157 | 1,000 | -134 | 8.70 | 1.46 |



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

| 契約日 | 終身型 | | 有期型 | | 契約月別 運用実績 (%) | 年複利 (%) |
|--------------|--------------|----------------|--------------|----------------|---------------------|------------|
| | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | | |
| 平成15年 4月 1日 | 1,000 | -153 | 1,000 | -130 | 8.83 | 1.50 |
| 平成15年 5月 1日 | 1,000 | -166 | 1,000 | -144 | 6.61 | 1.15 |
| 平成15年 6月 1日 | 1,000 | -177 | 1,000 | -155 | 4.78 | 0.85 |
| 平成15年 7月 1日 | 1,000 | -192 | 1,000 | -170 | 2.58 | 0.47 |
| 平成15年 8月 1日 | 1,000 | -199 | 1,000 | -178 | 1.28 | 0.24 |
| 平成15年 9月 1日 | 1,000 | -205 | 1,000 | -184 | 0.15 | 0.03 |
| 平成15年 10月 1日 | 1,000 | -206 | 1,000 | -184 | -0.29 | -0.06 |
| 平成15年 11月 1日 | 1,000 | -214 | 1,000 | -193 | -1.65 | -0.33 |
| 平成15年 12月 1日 | 1,000 | -210 | 1,000 | -188 | -1.49 | -0.30 |
| 平成16年 1月 1日 | 1,000 | -217 | 1,000 | -196 | -2.83 | -0.58 |
| 平成16年 2月 1日 | 1,000 | -226 | 1,000 | -205 | -4.21 | -0.89 |
| 平成16年 3月 1日 | 1,000 | -234 | 1,000 | -213 | -5.56 | -1.20 |
| 平成16年 4月 1日 | 1,000 | -244 | 1,000 | -223 | -7.08 | -1.56 |
| 平成16年 5月 1日 | 1,000 | -241 | 1,000 | -221 | -7.12 | -1.60 |
| 平成16年 6月 1日 | 1,000 | -232 | 1,000 | -211 | -6.31 | -1.44 |
| 平成16年 7月 1日 | 1,000 | -239 | 1,000 | -219 | -7.57 | -1.77 |
| 平成16年 8月 1日 | 1,000 | -224 | 1,000 | -203 | -6.07 | -1.43 |
| 平成16年 9月 1日 | 1,000 | -223 | 1,000 | -202 | -6.26 | -1.51 |
| 平成16年 10月 1日 | 1,000 | -221 | 1,000 | -200 | -6.40 | -1.58 |
| 平成16年 11月 1日 | 1,000 | -216 | 1,000 | -195 | -6.20 | -1.56 |
| 平成16年 12月 1日 | 1,000 | -224 | 1,000 | -203 | -7.43 | -1.91 |
| 平成17年 1月 1日 | 1,000 | -234 | 1,000 | -214 | -8.98 | -2.37 |
| 平成17年 2月 1日 | 1,000 | -232 | 1,000 | -211 | -9.07 | -2.45 |
| 平成17年 3月 1日 | 1,000 | -242 | 1,000 | -221 | -10.51 | -2.92 |
| 平成17年 4月 1日 | 1,000 | -240 | 1,000 | -220 | -10.67 | -3.03 |
| 平成17年 5月 1日 | 1,000 | -226 | 1,000 | -205 | -9.31 | -2.69 |
| 平成17年 6月 1日 | 1,000 | -232 | 1,000 | -212 | -10.41 | -3.09 |
| 平成17年 7月 1日 | 1,000 | -240 | 1,000 | -219 | -11.63 | -3.55 |
| 平成17年 8月 1日 | 1,000 | -247 | 1,000 | -227 | -12.79 | -4.02 |
| 平成17年 9月 1日 | 1,000 | -250 | 1,000 | -230 | -13.44 | -4.34 |
| 平成17年 10月 1日 | 1,000 | -273 | 1,000 | -253 | -16.32 | -5.47 |
| 平成17年 11月 1日 | 1,000 | -266 | 1,000 | -246 | -15.86 | -5.45 |
| 平成17年 12月 1日 | 1,000 | -283 | 1,000 | -282 | -18.04 | -6.42 |
| 平成18年 1月 1日 | 1,000 | -293 | 1,000 | -292 | -19.51 | -7.17 |
| 平成18年 2月 1日 | 1,000 | -301 | 1,000 | -299 | -20.63 | -7.83 |



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

| 契約日 | 終身型 | | 有期型 | | 契約月別 運用実績 (%) | 年複利 (%) |
|--------------|--------------|----------------|--------------|----------------|---------------------|------------|
| | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | | |
| 平成18年 3月 1日 | 1,000 | -294 | 1,000 | -293 | -20.22 | -7.89 |
| 平成18年 4月 1日 | 1,000 | -298 | 1,000 | -297 | -20.94 | -8.43 |
| 平成18年 5月 1日 | 1,000 | -294 | 1,000 | -293 | -20.77 | -8.62 |
| 平成18年 6月 1日 | 1,000 | -267 | 1,000 | -266 | -18.06 | -7.66 |
| 平成18年 7月 1日 | 1,000 | -266 | 1,000 | -266 | -18.33 | -8.04 |
| 平成18年 8月 1日 | 1,000 | -264 | 1,000 | -263 | -18.35 | -8.32 |
| 平成18年 9月 1日 | 1,000 | -276 | 1,000 | -293 | -19.92 | -9.40 |
| 平成18年 10月 1日 | 1,000 | -273 | 1,000 | -289 | -19.98 | -9.77 |
| 平成18年 11月 1日 | 1,000 | -274 | 1,000 | -288 | -20.35 | -10.35 |
| 平成18年 12月 1日 | 1,000 | -272 | 1,000 | -284 | -20.46 | -10.82 |
| 平成19年 1月 1日 | 1,000 | -284 | 1,000 | -294 | -22.01 | -12.17 |
| 平成19年 2月 1日 | 1,000 | -289 | 1,000 | -296 | -22.83 | -13.18 |
| 平成19年 3月 1日 | 1,000 | -288 | 1,000 | -293 | -22.98 | -13.86 |
| 平成19年 4月 1日 | 1,000 | -285 | 1,000 | -288 | -22.98 | -14.50 |
| 平成19年 5月 1日 | 1,000 | -288 | 1,000 | -289 | -23.57 | -15.61 |
| 平成19年 6月 1日 | 1,000 | -293 | 1,000 | -291 | -24.31 | -16.95 |
| 平成19年 7月 1日 | 1,000 | -288 | 1,000 | -287 | -24.12 | -17.71 |
| 平成19年 8月 1日 | 1,000 | -273 | 1,000 | -272 | -22.81 | -17.65 |
| 平成19年 9月 1日 | 1,000 | -259 | 1,000 | -258 | -21.66 | -17.74 |
| 平成19年 10月 1日 | 1,000 | -268 | 1,000 | -267 | -22.84 | -19.93 |
| 平成19年 11月 1日 | 1,000 | -266 | 1,000 | -266 | -22.99 | -21.43 |
| 平成19年 12月 1日 | 1,000 | -243 | 1,000 | -243 | -20.87 | -20.87 |

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

- (2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年11月末までの運用実績を示したものです。
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。
- (3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

